

番号	災害発生鉱山 管轄産業保安 監督部	県名	発生年月日時間	鉱種	鉱山労働者数 A:9人以下 B:10～49人 C:50～99人 D:100人以上	災害事由	罹災者数(人)					原因となった装置・施設 等	危険有害要因(ハ ザード)の内容	災害概況	リスクマネジメント実施状 況(発生前)	原因	対策	詳細情報
							死亡	重傷		軽傷	計							
								4週間 以上休 業の もの	2週間 以上4週間 未満休 業の もの									
1	関東	埼玉	H23/07/19(火) 18:30頃	石灰石	D	油の排出	-	-	-	-	-	重油ポンプ室ストレーナー	留め金具の破損 設備の保全体制	重油ポンプ室のストレーナーの取付カバーを押さえる金具が破損し、隙間から油(A重油)があふれて流出。ポンプ室床面の配管用に開けられた孔から漏れ、隣接する雨水の排水路を経由して河川に流出したが、被害はなかった。	所定の教育や巡視点検の実施、機器破損などの油の漏洩リスクについての現況調査が行われているが、重油ポンプ室の構造や周囲の排水路にかかるリスクは十分把握できていなかった。	ストレーナー取り付けカバー留め具の破損 重油ポンプ室の床の開口部の存在 設備の保全体制が不十分	1. ストレーナーの鋳物製留め金具の交換 （銅管を溶接した仮クランプに交換後ねじ止め機種へ変更） 2. 重油ポンプ室床面配管穴閉塞 排水路開口部閉塞 3. 油の漏洩検知(漏洩検出器及び油膜センサーの取り付け) 4. 類似箇所対策（現況調査、対策の実施） 5. 油流出防止（排水路集約化、油水分離装置の設置） 6. 油吸着剤等資材の備蓄 （装備品、備蓄量の検討 備蓄品管理手順の整備） 7. 機器点検制度 定期交換制度確立 8. 油流出事故に関する保安教育の実施	-